



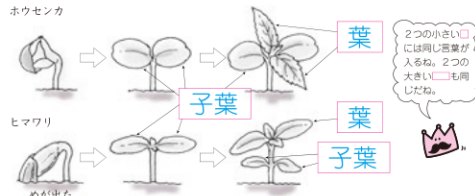
理科3年 めばえ～子葉・葉、チョウのせい虫の体 答え

月 日

めばえ～子葉・葉

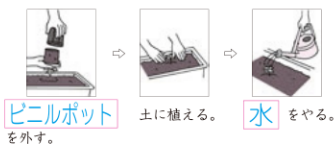
★ 下の図は、ホウセンカとヒマワリの、めが出てから育つようすです。図の□にあてはまる言葉を、下の□からえらんでかこう。同じものを2回使ってもよいです。

ホウセンカ



たね 葉 子葉 花

★ 下の図は、ピニルポットからプランターへ、ホウセンカを植えかえるようすです。□にあてはまる言葉をかこう。



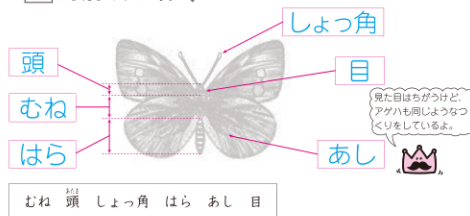
ピニルポット 土に植える。 水をやる。

★ たいしなまとめ
たねから(め)が出て、はじめに出るのは(子葉・花)で、次に出るのは(子葉・葉)である。子葉と葉は(同じ・ちがう)形をしている。

考え方 ★ ホウセンカやヒマワリ、マリーゴールドなどの植物で、めが出てからはじめに出る葉は、次に出る葉とはちがう形をしていて、子葉とよばれます。

チョウのせい虫の体

★ 下の図は、モンシロチョウの体のつくりです。□にあてはまる言葉を、下の□からえらんでかこう。



★ 次の文で、正しいものには○、まちがっているものには×をかこう。

- (1) モンシロチョウもアゲハも、頭にしょう角や目がついている。 (1) ○ (2) ×
- (2) モンシロチョウのあしは6本あり、アゲハのあしは8本ある。 (3) ○ (4) ×
- (3) 体が、頭・むね・はらの3つの部分からなり、むねに6本のあしがある動物を、こん虫という。
- (4) こん虫は、おもにはらで身の回りのようすを感じ取る。

★ たいしなまとめ
チョウの体は、頭・むね・はらの3つの部分からできていて、(むね・はら)にはあしが(6本・8本)ついている。このような体のつくりの動物を(こん虫)という。

考え方 ★ ★ チョウの体は、頭・むね・はらの3つの部分からできていて、むねには6本のあしがついています。このような体のつくりをしている動物をこん虫といいます。